

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	18	-	事業名	交通安全事業	担当部課	くらし文化部 安心安全課
------	----	---	-----	--------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	3	交通安全意識を高める気持ちを育む		
		施策の進め方	2	交通安全啓発の充実		
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 交通安全街頭活動及びキャンペーンの実施、並びに高齢者及び自転車利用者等を対象とした交通安全教室の開催等を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 交通安全意識を高め、交通事故のないまちを目指す。				
	事業を構成する事務事業	① 交通安全対策事業	継続	④		
	② 交通安全啓発事業	改善・見直し	⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	予算	/	/	/	19,677
			決算	/	/	/	18,554
	人件費(B)	12	決算	/	/	/	3,819
	総コスト(A)+(B)	12	決算	/	/	/	22,373

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 人身事故	件	目標	-	392	408	341	
			実績	404	414	362	345	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 実際に市内で発生した人身事故の件数								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 道路交通法の改正により、平成27年6月1日から、交通の危険を生じさせるおそれのある一定の違反行為(危険行為)を反復して行った自転車の運転者に対し、自転車運転者講習制度が始まった。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 人身事故件数は年々減少している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 高齢者の被害が全体の6割を占めているため、引き続き高齢者の交通安全意識の向上が必要である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) より多くの市民に周知できるような啓発方法を模索していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	交通安全事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

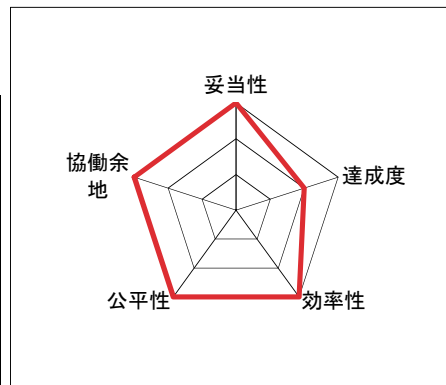
番号	①	事務事業名	交通安全対策事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 交通指導員が学童に対し、交通安全教育、登下校の交通指導や交通安全のための各種啓発活動などを行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 交通安全意識の向上を図る。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				16,284
		決算				15,521

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
交通指導員人数	人	目標	10	10	12	12	
		実績	10	10	12	12	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 交通指導員は、実践的な交通指導を目的として各小学校区に配置しているところだが、最近では、児童の安全確保全般について期待をされていると感じる。
--

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 交通指導員は、実践的な交通指導を目的としており、その目的のための適正な人員配置は行っていると考えている。そのため、今後も継続して事業を行う。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	交通安全事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

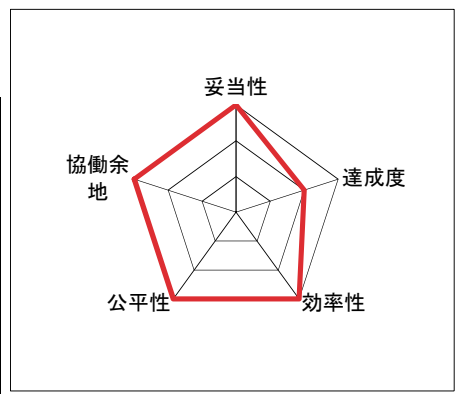
番号	②	事務事業名	交通安全啓発事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民を対象に交通安全に関する講習会やキャンペーンを実施する。高齢者の交通事故が多発していることから、シニアクラブや敬老大会においても啓発を実施する。各季の交通安全運動にあわせて街頭にて啓発キャンペーンを実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 交通安全意識の向上を図る。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,393
		決算				3,033

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
交通安全講習会開催回数	回	目標			21	21	
		実績			28	33	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
交通事故被害者の約6割を高齢者が占めており、高齢者に対する啓発がより必要となってきている。

6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
高齢者に対する啓発について、新たな機会や啓発の方法などについて、検討が必要である。